



1. 研修会参加の目的

昨今の、物価高騰（修学旅行代金アップ）や人気観光地のオーバーツーリズムによる交通事情や観光事情の困難さを打破すべく、新しい修学旅行先の検討を行うために現地を実際に訪れ、前年踏襲にとらわれない新たな修学旅行先の方向性を見いだす。

2. S W O T分析による関西方面と東北・北海道方面との比較

		＜京都・奈良・大阪方面＞		
		プラス要因		マイナス要因
	内部環境	強み S Strength	弱み W Weakness	
		<ul style="list-style-type: none"><li>・長期にわたって、関西方面での修学旅行先である。</li><li>・何度も引率している教職員がおり、下見の必要がない。</li><li>・観光都市でもある日光市と比較し、学びにつなげられる。</li><li>・同級生との思い出の一つとして、修学旅行に対して楽しみにしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・朝早い集合時間となる。帰宅時間も通常より遅くなる。</li><li>・交通機関を乗り継いで、現地に行く必要がある。</li><li>・寺社仏閣に関する興味関心が高いとはいえない。</li><li>・大部屋、大浴場を利用する事に対する抵抗感のある生徒がいる。</li><li>・修学旅行費の高騰に対して、懸念している保護者もいる。</li><li>・本校の生徒の9割以上が、高等学校に進学した際に再度関西方面での修学旅行となっている。</li></ul>	
	外部環境	機会 O Opportunity	脅威 T Threat	
		<ul style="list-style-type: none"><li>・修学旅行先として、旅行会社としての取り扱いや経験豊富な添乗員がいる。</li><li>・国内では、知らない人が少ないくらいの国宝や重要文化財を有する寺社仏閣が多い観光地である。（班別活動でのコースが充実している。）</li><li>・交通機関も発達している。</li><li>・宿泊として、修学旅行の受け入れ先も多い。</li><li>・タクシー利用によって、ドライバー（大人）が同行していただける。観光案内も兼ねてくださり、有意義な研修となっている。</li><li>・アレルギー対応のマニュアルが充実している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人旅行者の増加による、オーバーツーリズムの状態である。</li><li>・班別活動で利用するタクシーの確保が難しい。</li><li>・交通公共機関を利用する際、混雑していて移動が煩雑である。</li><li>・6月の修学旅行実施の際、熱中症の危険性が高い。</li><li>・6月の修学旅行実施の際、梅雨の時期に当たっている。</li><li>・班別活動での研修箇所の拝観料が高い。</li><li>・宿泊する際の宿泊費が高い。</li></ul>	
				
		＜青森・北海道方面＞		
		プラス要因		マイナス要因
	内部環境	強み S Strength	弱み W Weakness	
		<ul style="list-style-type: none"><li>・家族旅行として訪れたことのある生徒が少ないため、新たな修学旅行先として好意的な感情を持っている生徒や保護者が多い。（海と夜景）</li><li>・宇都宮駅から乗車して乗換の必要がない。（往復の移動時間の短縮と集合解散時間が、教育的な時間内である。）</li><li>・新幹線利用で訪れ可能である。</li><li>・日光市は、戊辰戦争による被害を受けた土地であり、藤原地区は弾痕が残っている。このことから、地域学習を進めて1学年で上野（戊辰戦争激戦地）、2学年で、会津（白虎隊編成による戦いの場）を学び、3学年で函館五稜郭を訪れるとストーリー性のある学びとなる。</li><li>・生徒が高校に進学した際に、関西方面の修学旅行と被らない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・修学旅行先として、引率した経験のある教員がいないため、下見等を行う必要がある。（電車の乗り換え、集合場所、トイレ数等）</li><li>・修学旅行での学びの場が、関西方面の際は平安時代から江戸時代であったが、青森・北海道方面であると縄文時代と明治時代以降となり、寺社仏閣を生徒に見せたいという教員もいる。</li><li>・札幌や小樽等を修学旅行先として視野に入れると、飛行機利用が考えられるが、飛行機利用に対して不安を持つ保護者・生徒がいる。</li></ul>	
	外部環境	機会 O Opportunity	脅威 T Threat	
		<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人旅行者が、関西方面よりも少ない。</li><li>・班別活動を函館市内で実施する場合、路面電車・バスの一泊乗車券を利用して、安価かつ生徒だけで主体的に学ぶことができる。（コンパクトcityとして、学ぶ環境が整っている。）タクシーの利用は必要ない。</li><li>・宿泊費が、関西方面と比べて安い。修学旅行受け入れ誘致で自治体全体で実施している。</li><li>・6月の修学旅行実施の際、熱中症の危険性が低い。</li><li>・6月の修学旅行実施の際、梅雨の影響を受けにくい。</li><li>・三内丸山遺跡（重要文化財）の見学、ねぶたの施設等の見学科が安い。</li><li>・午前中のうちに青森に到着するため、昼食は弁当でなく施設で土地の物を温かい状態で食せる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・青森の観光を充実するならば、観光バスの利用をすることが必要となる。</li><li>・多くの旅行会社は、修学旅行先としての青森・北海道のツアー催行数が少ないため、手探り状態であると考えられる。</li><li>・宇都宮駅で東北新幹線に乗り換え、仙台駅で乗り換える必要がある。（一定数の学校が、乗車することが決定すれば乗換無しとなる）</li><li>・函館市内での班別研修を行う場合、コースが限られてしまうのではないかと懸念が中、大規模校では考えられる。</li></ul>	

### 3. 現地研修会の行程

区分	予定時間	行程	宿泊
7月25日(金) 【1日目】	08:18 11:16  19:00	東京駅発 はやぶさ7号 新青森駅着 青森市内見学 市場見学、三内丸山遺跡、浅虫水族館 旅館 着 到着後意見交換会実施 意見交換終了後夕食	浅虫温泉 (1室 複数名)
7月26日(土) 【2日目】	08:00  13:59 15:01  19:00	ホテル発 弘前近郊見学 津軽藩ねぶた村 (見学・昼食) 新青森駅発 はやぶさ17号 新函館北斗駅着 函館市内見学 五稜郭公園、函館山 ホテル着 (到着後夕食会場へご案内)	函館市内 
7月27日(日) 【3日目】	08:30  14:48 19:04	ホテル発 函館市内散策(元町周辺) 大沼公園見学  道の駅なないろ・ななえ・見学、昼食 新函館北斗駅発 はやぶさ34号 東京駅着	

### 4. 現地研修会を終えて

北海道・青森方面への修学旅行については、現在多くの学校が訪れている関西方面に劣らない教育旅行となると考えることができた。

○北海道のみの修学旅行案について

・新幹線利用のみで北海道を訪れるとすると、3日間のうち1日は函館の班別研修(路面電車利用)で体験活動(湾内バイクルーズやピロシキ作り体験、ステンドグラスや吹きガラス体験、アイヌ民族楽器の製作体験、オルゴール制作体験、和洋モダン衣裳体験等)を組み入れることによって、豊かな1日を生徒たちが主体的に活動することができる。

残りの2日間に関しては、バスを利用する必要があるが、周辺の市町まで足を伸ばせば漁業体験や仔牛哺乳体験、カヌー体験、農業体験、縄文遺跡群見学、トラピスト修道院見学等が考えられる。

○青森を修学旅行に組み込んだ青森・北海道の修学旅行案について

・ねぶた(東北三大祭り)会館見学(3カ所)を通して、本市でいえば弥生祭り・東照宮例大祭との違いや地域色あふれる文化に触れることができる。(教科横断的な学びにもつながる)また、三内丸山遺跡(日本最大級縄文遺跡:世界文化遺産登録)の見学も歴史文化を学ぶ上で貴重な場所である。農家への民泊(リンゴ農家)や海辺に宿泊(陸奥湾を見晴らして)も安価である。



### 5. 本県にあった修学旅行を考える(考察)

修学旅行費用(本校比較で、約1.5万安)、研修のしやすさ(オーナーツーリズム対策)、熱中症への懸念薄、梅雨に関して比較的影響低、高等学校の修学旅行が関西方面に被らない、新幹線を利用して2つの道・県を訪れる等を考慮すると、青森・北海道を修学旅行先として視野に入りたい。

しかし、修学旅行としての行程については一考する必要性を感じた。

例としては、緑豊かな環境で生活する私たちにとって、民泊による農業体験や湖でのカヌー体験は魅力的に感じないのではないか。逆に、海無し県民としては、美しい海辺に触れて夜景の美しさ(函館山の夜景)をみることや路面電車に乗ること等は、大きな魅力に感じるのではないかと。飛行機を利用するならば、北海道観光の幅も広がるのではないかと。(北海道のみを修学旅行先として選定した場合)



## 6. その他

魅力的な、青森・北海道修学旅行を想定しての修学旅行プランを提案する。

～やっぱり 栃木県民は「海」と「都会的な美しさ」「伝統文化」に憧れる～

海を眺め・ビュッフェ有りの豪華ホテルに宿泊・夜景を堪能・つながりある歴史や文化を学ぶ旅

2025. 8. 8 文責 生海

### 令和の青森・北海道(函館)修学旅行 行程(案)

――はバス、==は電車、...は徒歩を表す

#### 1日目

★やまびこ125号、仙台駅9:38着乗換(ホームを挟んで12番線から11番線)

藤原中学校集合(6:00)――宇都宮駅(8:29)==仙台駅(9:50発)==新青森駅(11:16着)

★新青森駅からバスで10分程度

――三内丸山遺跡11:45～13:30(昼食・見学ガイド付き)――弘前市津軽藩ねぶた村14:30～16:30(津軽三味線、ねぶた見学・制作するか?)

★新幹線内で、弁当と諸連絡

――ねぶたの家ワラッセ17:30～18:20(ねぶた体験)――新青森駅(18:41発)==新函館北斗(19:44着)在来線乗換(19:55発)==JR函館駅着(20:10)

...ラビスタ函館ベイホテル着(20:30)

#### 2日目

ラビスタ函館ベイホテルにて朝食後:路面電車を活用して班別――必ず班ごとで体験活動をして携帯で撮影後、本部に送る+チェックポイントでも撮影して本部に送る

★各班に携帯電話をレンタル1台+昼食は班ごとに食べる

――ラビスタ函館ベイホテル着(16:30)+ + + 荷物の整理を行う + + + ラビスタ函館ベイホテル発17:30...夕食18:00...函館山ロープウェイ乗り場19:00(記念写真、夜景観賞)

函館山ロープウェイ19:45発...ラビスタ函館ベイホテル着20:10

行程内写真は、頂いたパンフレット



#### 3日目

★路面電車で22分

ラビスタ函館ベイホテルにて朝食後:ラビスタ函館ベイホテル発(8:30)...路面バス(魚市場通バス停から五稜郭公園駅前)...五稜郭+制作するか? 函館奉行所見学(9:00～11:00)

★昼食は新幹線内?

昼食...五稜郭公園駅前==新函館北斗駅(12:48発)==仙台(15:29着、15:34発)==宇都宮駅着(16:44)――藤原中学校(18:00)

★五稜郭公園駅前から函館駅を経由して新函館北斗駅まで1時間かかると考える

★3日目バスを使いたくないが、バスの方が時間は有効かもしれないが、金額による

<三内丸山遺跡:世界文化遺産登録と陸奥湾からの海(左)と函館湾(右)>

